

第9回防災まちづくり大賞について

(財) 消防科学総合センター

小 松 幸 夫

1. はじめに

総務省消防庁及び当センターでは、平成16年度に「第9回防災まちづくり大賞」を実施しました(平成8年度から毎年実施)。本事業では、地方公共団体や自主防災組織等における防災に関する様々な取り組みについて応募いただき、学識経験者、関係団体、関係行政機関の職員等で構成される「防災まちづくり大賞選定委員会」(委員長:澤井安勇(総合研究開発機構理事))において審査、選定を行い、特に優れた活動について「防災まちづくり大賞」を贈呈しました。本稿は、その審査結果と受賞事例をまとめたものです。なお、同大賞の表彰式は平成17年2月2日に行われ、関係団体にそれぞれ大賞が贈られました。

2. 応募内容

以下のような対象及び内容により、防災に関する様々な取り組みについて応募いただきました。

(1) 対象

都道府県、市町村(一部事務組合を含む)、消防団、自主防災組織、婦人防火クラブ、少年・幼年消防クラブ、事業所の防災組織、ボランティア団体、NPO、小・中学校、高校、大学などの教育機関、辱まちづくり協議会等の各種団体、組織

(2) 内容

①一般部門

ア 防災ものづくり:防災センターなど防災関係の施設整備、道路や公園、建築物、植樹等における防災面での配慮など、ハード面を中心とする取組。

イ 防災ことづくり:防災意識の高揚・啓発や防災マップの作成、自主防災活動など、地域におけるソフト面を中心とする取組。

ウ 防災ひとづくり:人々の災害対応能力を高めるための実践的な教育訓練、講座・研修などの取組。

②ホームページ部門

防災まちづくりに役立つ情報発信を行っているもので、優れた防災のコンテンツを有するホームページ。

3. 第9回防災まちづくり大賞の表彰の種類

表彰は、一般部門が、総務大臣賞(2団体)、消防庁長官賞(3団体)、消防科学総合センター理事長賞(6団体)、ホームページ部門が、総務大臣賞(2団体)、消防庁長官賞(1団体)の合計14団体としました。

4. 第9回防災まちづくり大賞の結果と受賞事例の概要

各都道府県からの推薦及び一般からの自薦により収集された179件に及ぶ事例について、防災まちづくり大賞選定委員会において審査・選考を行い、第9回防災まちづくり大賞の受賞14団体が決定しました。以下に受賞14団体とその受賞事例の概要を紹介します。

(1)一般部門

<総務大臣賞>

| | |
|-----|---------------------------------|
| 事例名 | -だれにも優しいまちづくり- 緊急時要援護者支援システムの展開 |
| 団体名 | 鶴舞自治会・鶴舞自主防災委員会(埼玉県坂戸市) |

災害発生時の要援護者支援に対して「緊急時要援護者支援システム」を構築したものです。年1回の調査や民生児童委員、地域住民からの情報などにより、要援護希望世帯・支援可能世帯を把握し、民生児童委員と自主防災委員会が情報を共有しています。また、要援護希望世帯を戸別に訪問し、支援依頼先が無い場合は支援可能世帯に援護を依頼しています。現在、要援護者数約50名に対し、80世帯が支援者となりサポートを実施中です。



写真1 状況報告訓練(要援護者の避難)

| | |
|-----|---------------------------------|
| 事例名 | ひらつか防災まちづくり……迫り来る大地震を地域とともに迎え撃つ |
| 団体名 | ひらつか防災まちづくりの会（神奈川県平塚市） |

自治会、NPO、福祉団体等と連携し、紙芝居や防災七夕飾りの制作、防災出前ミニ集会、防災イベント、防災まち探検などの普及啓発事業を行っています。また、耐震診断や耐震補強にも力を入れており、耐震診断・新補強工法の公開や新補強工法の制度化を行うための検討会などを実施しています。この他、防災カルタや外国語防災マニュアルの制作など、多岐に渡る活動を展開しています。



写真2 防災七夕飾りの制作

<消防庁長官賞>

| | |
|-----|-------------------------|
| 事例名 | 安全、安心を贈る街、災害に強い街づくり「銀座」 |
| 団体名 | 銀座震災対策委員会（東京都中央区） |

昭和 57 年に第 1 回銀座震災訓練を開催し、平成 16 年で第 23 回を迎え、着実に自主防災行動力を身につけています。訓練は、銀座地区の町会・事業所・地元消防団等約 5,000 人が参加し、銀座中央通り及び晴海通りを訓練場所として、初期消火訓練、応急救護訓練、避難訓練、救護所設置及び運営訓練など、発災時の状況に従って訓練を進めています。なお、本会の構成員は、平素から銀座祭等を通じて連帯感を身に付けています。



写真3 消防団による応急手当指導状況

| | |
|-----|-----------------------------------|
| 事例名 | 特定非営利活動法人新潟県災害救援機構が構築した防災情報通信システム |
| 団体名 | 特定非営利活動法人新潟県災害救援機構（新潟県上越市） |

昭和 50 年から、アマチュア無線を用いて、行政と連携しながら災害時の情報収集などを行っていました。その後、阪神・淡路大震災を機に NPO 法人を立ち上げ、上越市と協定を締結するとともに、防災相互通信無線局免許を取得し、防災機関などに情報を提供しています。また、ポケベルや携帯メールでの情報配信も行っています。この他、災害時には、被災地に赴いて応急手当や炊き出しを行うなど、幅広い活動を展開しています。



写真4 通信訓練

| | |
|-----|----------------|
| 事例名 | 広域ボランティア団体 |
| 団体名 | 和歌山民間救援隊（和歌山県） |

阪神・淡路大震災を契機に、様々な職業や趣味・特技を持った市民有志が集まり、平成 7 年 4 月に発足しました。主に、隊員の保有する豊富な資機材（ヘリ・船・バイク等）を活用し、災害発生時の情報収集や負傷者搬送等の救援活動を行うこととしています。この他、日常発生する捜索事案や災害に備えた防災訓練などにも活発な活動を行うなど、地域の防災ボランティア団体としてリーダー的な役割を担っています。



写真5 ヘリの活用（情報収集訓練にて）

<消防科学総合センター理事長賞>

| | |
|-----|------------------|
| 事例名 | 世代継続する地震に強いまちづくり |
| 団体名 | 松島町（宮城県） |

若者に防災活動の参加を促すことを目的に、「世代継続する地震に強いまちづくり」を実現するための実施計画を作成しました。また、松島中学校では、2 年生全員を対象に木造住宅の耐震

診断授業を実施し、その知識が家庭に波及しています。この他、大人を対象にした木造住宅の耐震診断講習会も行っていますが、先に学習した中学生が講師をサポートして大人たちに熱心に教えるといった状況が生まれています。

| | |
|-----|--|
| 事例名 | ともに学びあおう！わたしたちが住むまちの防災活動 ～町内会や自治会で防災活動に取り組んでみませんか？～ |
| 団体名 | 横須賀（災害）ボランティアネットワーク（神奈川県横須賀市） |

自分の住む地域の問題やそれに対する取り組み方法について考えるきっかけ作りを目的に、防災に興味のある人たちを公募で募集し、市民レベルに立った「防災活動の冊子」を作成しました。内容は、横須賀市にある自主防災組織の中から活発に行っている団体の事例を取り上げ、その事例を掲載するとともに、事例を通して大切と思われることを記載しています。

| | |
|-----|---------------------------|
| 事例名 | 在宅療養者の防災対策 |
| 団体名 | 平塚保健福祉事務所継続看護連絡会（神奈川県平塚市） |

在宅療養者が正しい知識で防災対策に取り組めるように、在宅療養者のための防災対策マニュアルを作成し、指導者用マニュアルをもとに療養者に説明し配布しました。配布前後に、療養者・介護者の防災上の不安について調査を実施した結果、一番の不安として、介護者の搬送が難しいことがあげられました。そこで、モデル地区で検証を行い、療養者に対して搬送講習会の実施や搬送に関するマニュアルの作成も行いました。

| | |
|-----|------------------------------------|
| 事例名 | 恵那市家具転倒防止ボランティア作戦「みんなで助け合おう減災たいさく」 |
| 団体名 | 恵那市家具転倒防止実行委員会（岐阜県恵那市） |

「恵那市家具転倒防止実行委員会」を立ち上げ、災害弱者といわれる高齢者に対して家具転倒防止を行いました。まず、高齢者に対して意向調査を行うとともに、ボランティア参加者を募集し、参加者に対して家具の取り付け方法に関する講習会を実施しました。また、事前に申請者宅の部屋の間取り等について調査しています。作戦当日は、総勢約 900 名が参加し、申請者 142 名宅へ赴き、寝室等の家具を固定しました。

| | |
|-----|--|
| 事例名 | 日吉学区防災プロジェクト“プロジェクトH” －みんなでやるみゃ～どえりゃ～安全で住みやすいまちづくり－ |
| 団体名 | 日吉学区防災安心まちづくり委員会（愛知県名古屋市） |

平成 12 年から、プロジェクト H と題して、地域住民が持ち寄った不用品を防災用品として再配布する R2(あるある)パック(レスキュー&リサイクル)や、家具の固定方法を学習し、依頼のあった老人宅に出向き家具の固定を行うなどしています。この他、避難所体験訓練、防災伝道活動、リーダー養成講習、運動会、防災倉庫の設置、防災安心マップの作成、自主防災組織単位での各種訓練など様々な活動を展開しています。

| | |
|-----|-----------------------------------|
| 事例名 | 震災メッセージ・プロジェクト |
| 団体名 | NHK 神戸放送局「震災メッセージ・プロジェクト」(兵庫県神戸市) |

2002 年から毎日夕方 6 時に放送している「ニュース KOBE 発」の中で、震災を体験した有名人や防災関係者の阪神・淡路大震災に関するメッセージを紹介する「震災メッセージ」を放送しています。また、約 10 人分の放送ごとに、総集編特番「語り継ぐあの日」を放送する他、他の関西エリアの方を対象に、朝のニュース番組「おはよう関西」でも放送しています。また、ホームページでも過去の放送内容を紹介しています。

(2) ホームページ部門

<総務大臣賞>

| | |
|------|---------------------------------------|
| 事例名 | 静岡県地震防災センター |
| 団体名 | 静岡県地震防災センター（静岡県） |
| アドレス | http://www.e-quakes.pref.shizuoka.jp/ |

東海地震等に対する防災意識の高揚と家庭内等における対策の推進を目的にしたサイトです。主に、地震の内容を中心に、小学生向けと大人向けにわけて解説した「地震の知識」や、静岡県・家庭・企業・学校で考えられる「地震対策」を紹介しています。また、静岡県作成の資料を見ることができる「防災の本棚」、気象台発表の地震情報を紹介する「週間地震概況」、地震のしくみ等に関する「防災クイズ」などのコンテンツもあります。

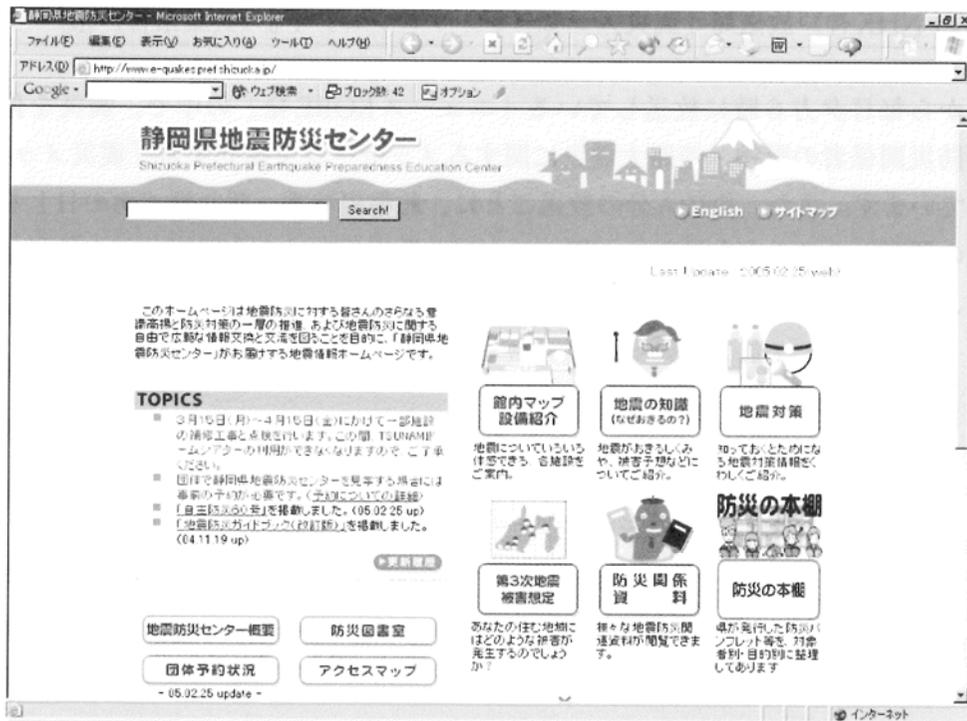


図1 「静岡県地震防災センター」トップページ

| | |
|------|------------------------|
| 事例名 | 防災みえ.jp |
| 団体名 | 三重県 |
| アドレス | http://www.bosaimie.jp |

トップページと、災害時の被害情報等を提供する「緊急・災害」、天気予報、台風情報等を提供する「天気・観測」、東海地震や津波の情報、地震情報を提供する「地震・津波」、交通機関の情報を提供する「交通・道路・生活」、災害への備えに関してまとめた「もしものときに」の5つのメニューから構成されます。その他、わかりやすく防災を解説した「きつずページ」や、地震情報や気象警報等を知らせる「メール配信」などもあります。

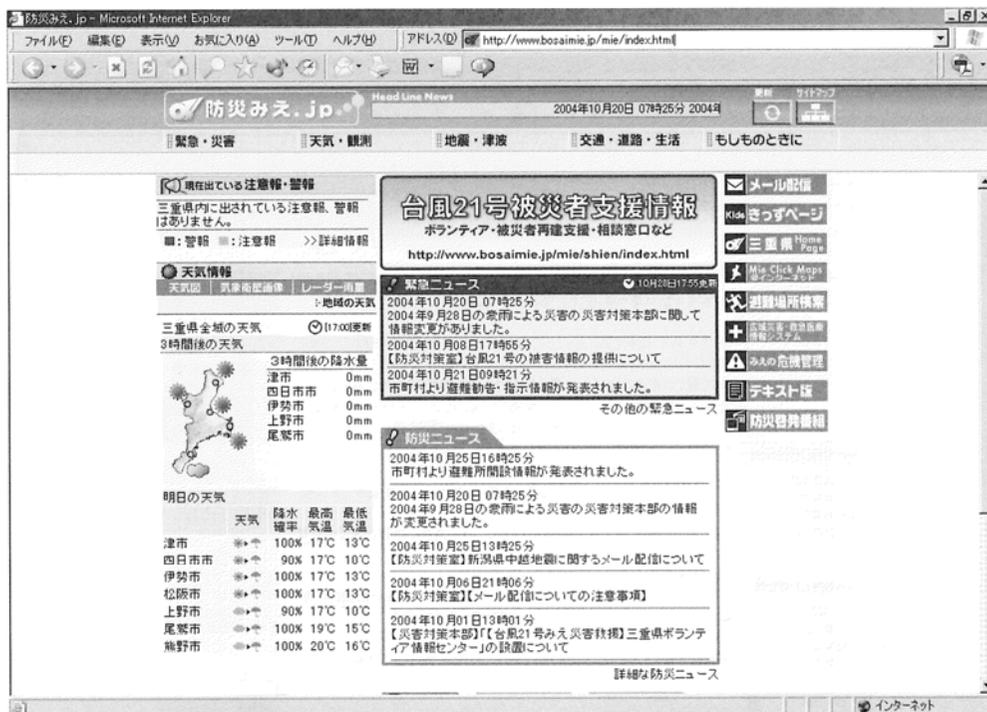


図2 「防災みえ.jp」トップページ

<消防庁長官賞>

| | |
|------|-----------------------------|
| 事例名 | いけうら防災ねっと |
| 団体名 | 池浦町自主防災会（愛知県安城市） |
| アドレス | http://www.ai21.net/bousai/ |

独自で制作している手作りのサイトです。主に、東海・東南海地震等を紹介する「今度来る地震」、家具の転倒防止等について解説する「最大の凶器」、本防災会で実践する提案を紹介している「日頃の備え」・「災害時の対応」・「自主防の役割」などで構成しています。この他、「防災・地域情報掲示板」、「災害緊急情報」、「防災用語まめ知識」「防災知識・常識のうそ」「防災グッズを揃える」など幅広い情報を提供しています。

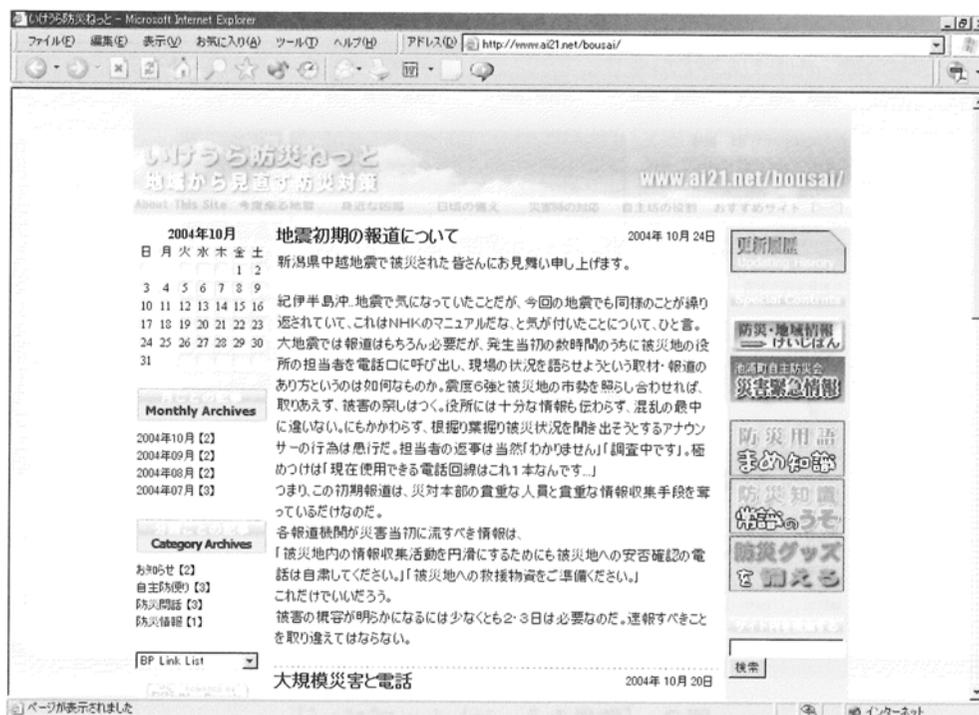


図3 「いけうら防災ねっと」トップページ

5. おわりに

今回の第9回防災まちづくり大賞の応募に際し、各都道府県及び市町村、その他関係団体の皆様には、ご多忙中のところ大変なご協力を賜りました。厚くお礼申し上げます。